

標題 島後和牛改良組合との市場意見交換会を開催

(ダイジェスト)

近年の全国的な和牛子牛の販売価格の下落は、繁殖農家の経営を圧迫しており、特に商品性の低い子牛は安く取引されています。昨年11月に開催された隠岐家畜市場では、特に西郷市場において、去勢子牛で全体平均より安く取引されている状況でした。そこで、農家に対する産地の現状と課題の周知を目的とし、和牛改良組合へ意見交換会の開催を働きかけ、11月24日に情報提供を行いました。

令和6年度11月の西郷市場では、去勢子牛で隠岐家畜市場の全体平均と比較し1頭当たり1万5千円安く、特に飼養形態が類似した海士市場と比較すると4万円も安く取引されている状況でした。西郷市場と海士市場の子牛を比較すると、日齢増体重や発育判定に大きな差はありませんでしたが、西郷市場の子牛は「お腹が下垂し、腿の充実度が足りない子牛」が多く見られました。この子牛の体型のバランスの悪さが西郷市場の課題であり、取引価格に影響を及ぼしている大きな要因の1つであると考えました。

そこで、島後の畜産農家に対して、現状の西郷市場の課題を把握してもらうこと、また、その課題解決に向けて子牛の離乳食であるスターターへの理解を深めてもらうことが必要であると考え、島後和牛改良組合へ意見交換会の開催を働きかけ、畜産農家が集まる場を設けてもらいました。

情報提供の内容として、①西郷市場の課題把握のため、出荷子牛にお腹が下垂した子牛が多かったことやそのお腹の下垂が起こるメカニズムとその対策について、また、②スターターへの理解向上のため、スターター給与の目的と効果やスターター給与がその後の発達や成長に及ぼす影響について、図を交えてできるだけ視覚的に分かりやすい内容となるように意識した資料を作成の上、畜産農家に対して説明を行いました。

その結果、農家からは分かりやすく勉強になったとの評価を頂きました。また、農家から「スターターの給与はいつまですべきか」、「子牛のお腹の下垂はお腹づくりができていないと勘違いしていた」、「スターターの適切な給与量はどのくらいか」などの質疑や意見を聞く良い機会となり、活発な意見交換の場となりました。

質疑応答を通じて、農家への技術の普及及び定着がまだ不十分であると感じたので、今後は情報発信を更に積極的に行い、島後地区の子牛の飼養管理への意識向上及び商品性向上に繋がっていきたいと思います。

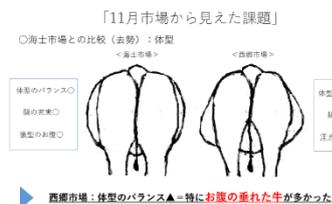


図.1 スライド例①

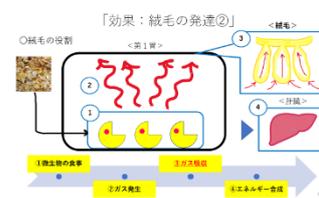


図.2 スライド例②